

地球にやさしく、お客様より信頼される企業をめざして

TAMAGAWA NEWS

新社長就任あいさつ

新ジャイロ工場が操業 ~八戸第2工場~

New products 新製品紹介

FG beads HMシリーズ

Information

ホームページリニューアル

第2歴史館 開館

危機管理産業展2017

2017国際ロボット展

2018.2

Vol.20

多摩川ニュース



春を告げる“初午はだか祭り”

Tamagawa

CONTENTS

郷土の味 130年前の京都秘伝の味、栗まん十 春木屋本店

多摩川精機販売株式会社

新社長就任ごあいさつ 代表取締役社長 関 重夫
新役員紹介

新ジャイロ工場が操業を開始しました(八戸第二工場紹介)

New products 新製品紹介

新発売 FG beads HMシリーズ

TAMAGAWA Topics トピックス

発掘! 戦前の図面紹介(第3回) 幻の半地下工場図

Information イベント・展示会出展情報

ホームページリニューアル情報、第二歴史館開館のお知らせ

展示会出展情報: 01 危機管理産業展2017



02 2017 国際ロボット展

Introduction グループ会社紹介

多摩川モバイル電装株式会社

青森県八戸市 周辺探訪 八戸ポータルミュージアム はっち

Information サークル紹介、社員旅行情報

1
2

3
5

6

7

9

10

今回の表紙



時又はだか祭り写真コンクール入選作品

撮影: 萩山 清和「時又の春」

時又初午 はだか祭り

鎌倉時代より伝わり、毎年3月の第2日曜日に開催され今年は3月11日に開催予定。このはだか祭りは、南信州に春を告げる行事となっており、多くの人々が楽しみに待っている神事です。

領主が戦勝を感謝し、亡くなった兵士の霊を慰めるため、地元の長石寺に木馬を奉納したことが始りとされ、現在は男性が天竜川の冷水を浴びながら様々な神輿を担ぎ、五穀豊穡や家内安全を願う祭りとなっています。

お問合わせ●飯田観光協会 0265-22-4851

郷土の味

130年前の京都秘伝の味、栗まん十 春木屋本店

屋神温泉に近く、古道、東山道の面影を残す宿場町・駒場。春木屋本店は、その街並の中央にある菓子店舗です。



栗まん十

明治20年、京都の菓子職人・甚六が、信濃路を旅した際に豆腐屋を営んでいた当時の春木屋主人・長太郎に世話になったお礼にと、その製法を伝えたのが栗まん十です。そして、明治22年、伊那谷で初めて京都の上生菓子の流れを汲む栗まん十が春木屋本店で発売され、評判となり、今日まで愛されています。口の中で静かに溶けてゆく甘味は、抹茶や緑茶にととてもよく合います。この他、飯田市の古刹・立石寺近辺の情景を表現した菓子、柿水飴の幾代(いくよ)と、柿錦玉の永日(えいじつ)も柿を使用した上品な味わいが好評のお菓子です。



幾代
柿水飴と特製おせんべい



永日 柿錦玉

●お問合わせ・ご注文 春木屋本店 栄松庵

〒395-0303 長野県下伊那郡阿智村駒場243-1 TEL: 0265-43-2878 FAX: 0265-43-2879

【営業時間】午前8時30分～午後7時 【休業日】月1回(木曜日) ホームページ: <http://www.harukiyahonten.com>

多摩川精機販売株式会社 新社長就任ごあいさつ

多摩川精機販売株式会社は、2018年2月11日の株主総会に於いて、代表取締役社長に 関 重夫が就任致しました。



代表取締役社長 関 重夫

この度、第34回定時株主総会並びに取締役会に於いて多摩川精機販売株式会社社長に就任しました。謹んで、ご挨拶申し上げます。浅学非才の身ではありますが、一生懸命社業の発展に向け邁進する所存ですので、皆様にはくれぐれもよろしくご支援賜りますようお願いいたします。

私は、多摩川精機株式会社の社長に就任し4年が経過しますが、地域社会への貢献を第一に考え、「技術を育てて技術を売る」という企業理念の下、経営に取り組んで参りました。80期を迎えた17年度では、それが一つの成果となって現れ、設備関連のFA事業が国内および海外共に大きく伸び、多摩川精機グループでは、過去最高の売上となりました。自動車関連のCA事業では、凡そ20年前より始めたハイブリッド自動車の駆動モータ用センサが昨今のEVシフトの追い風に乗り、国内は元より海外でも今後の成長が大きく望めます。創業時から当社を支え

た航空・宇宙・防衛関連のDA事業は、民間航空機の将来性と共に宇宙関連事業の将来も明るく、加えて防衛関連事業も安定した推移をしております。変化の激しいグローバル市場にあって、技術開発を軸とした事業展開は、競争力を維持し、持続的成長を目指す上で重要な要素となっておりますが、それにも増してお客様との接点は、益々その位置づけが重くなってきています。今般、多摩川精機販売株式会社の社長を拜命するに当たり、多摩川精機株式会社社長の職務と共にお客様第一を掲げ、営業、技術、製造の各部門の垣根を無くし、三位一体の強固な体制を構築したいと考えています。常に社員全員がお客様の立場に立ち、喜んでもらえる商品の提供を通して、お客様の社業の発展に寄与する、そのために最大限の努力をしていく所存です。

多摩川精機グループは、お客様の声を大事にしながら、今後も一層精進し、技術を鍛え、技術を磨き、新しい技術に弛まず挑戦することで、グローバルで戦える強い企業を目指して参ります。皆様方の変わらぬご愛顧をお願いし、挨拶とさせていただきます。

プロフィール

関 重夫(せき しげお)
生年月日/1951年8月9日
出身地/長野県飯田市

略 歴

1974年3月 千葉大学工学部写真工学科卒業
1974年4月 多摩川精機(株)入社
2002年2月 多摩川精機(株)取締役就任
2011年2月 多摩川精機(株)常務取締役就任
2013年2月 多摩川精機(株)取締役副社長就任
2014年2月 多摩川精機(株)代表取締役社長就任
2018年2月 多摩川精機販売(株)代表取締役社長就任

趣 味/ドラム

多摩川精機販売株式会社

□創 立 1998年11月21日
□資 本 金 14,650,000円
□従業員数 110名



多摩川精機販売株式会社 役員人事のお知らせ

新規就任の役員について下記のとおり株主総会で決定いたしましたので、お知らせいたします。

萩本康夫：常務取締役(営業担当)

塩沢政宏：取締役本部長

新ジャイロ工場が操業を開

2017年10月、MEMSジャイロ、IMU生産設備を八戸事業所福地第二工場から八戸第二工場へ移設、新たなジャイロ工場として操業を開始しました。

ジャイロ事業は当社が創業当時から携わっているコア事業のひとつであり、その拠点工場として、今後の需要拡大を見込み、さらに拡充していきます。

八戸第二工場はワンフロアに工程を集約し、作業効率が向上。広いクリーンルームがあり、将来の増産に向けた拡張エリアも確保できています。

今後は、長野県にある第一事業所では、従来どおりFOGや光ファイバジャイロとその応用の姿勢計測装置の設計、製造を手掛け、ここではMEMSジャイロとその応用製品であるIMUの設計、製造を行ってまいります。



●八戸第二工場

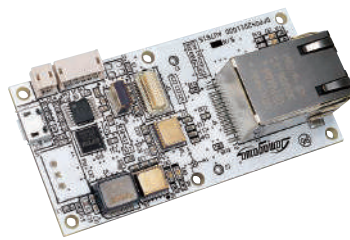
敷地面積 34,251㎡(10,360坪)

工場面積 15,089㎡(4,560坪)

●八戸第2工場の主な製造品目



MEMS IMU



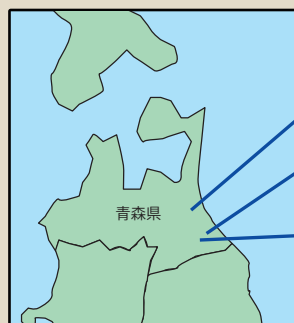
MEMSジャイロ



ロータリーエンコーダ
ガラスディスク製造

青森地区 工場紹介

八戸第二工場は、八戸事業所近郊に位置し、今回この工場ができたことで青森県内は1事業所+4工場体制となりました。各工場で作っている製品をご紹介します。



② 三沢工場

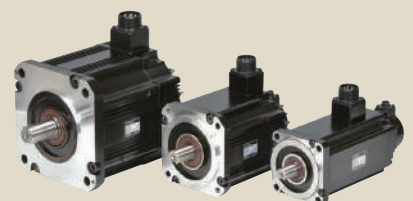
① 八戸事業所・八戸第一工場

● 八戸第二工場

③ 福地第一工場

④ 福地第二工場

① 八戸第一工場 設備関連製品



大型サーボモータ

始まりました ～八戸第2工場～

●工場内の様子



MEMSジャイロのセンサエレメント(音さ部分)フォト工程。クリーンルームの清浄度はクラス100で管理されたエリアです。ここでは、ロータリーエンコーダのガラスディスクも製造します。



MEMS IMU 組立ライン



MEMS 製造ライン



測定室

モーションコントロール研究会開催

2月16日に八戸第2工場で開催されました。
今回も多分野のお客様にご参加いただき、移設が完了した新工場の見学などが行われました。

今回は、5月11日を予定していますので、MEMSジャイロ、IMUについて、ご興味のある方は、ぜひお近くの営業所までお問い合わせください。



過去の研究会の様子



②三沢工場 車載関連製品 ③福地第一工場 設備関連製品 医療関連製品 ④福地第二工場 設備関連製品 車載関連製品



車載用VR型レゾルバシングルボール



レゾルバ/デジタル変換ICスマートコーダ



ロータリーエンコーダ



トラックボール



サーボドライバ



板金



ブラシレスレゾルバスマートシン



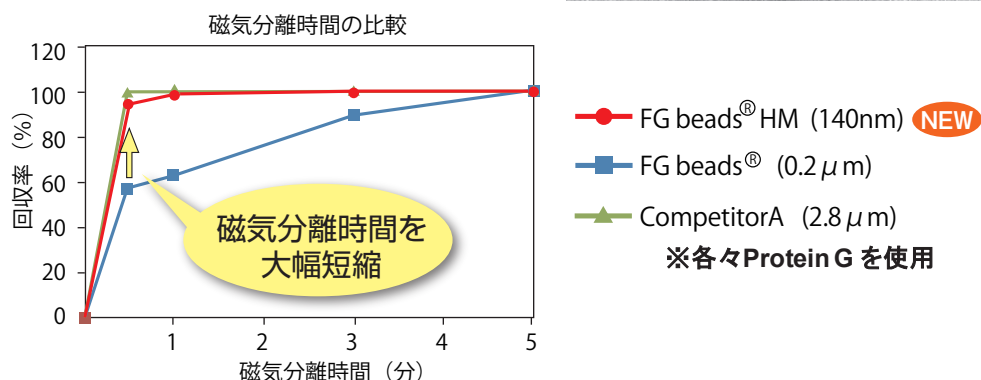
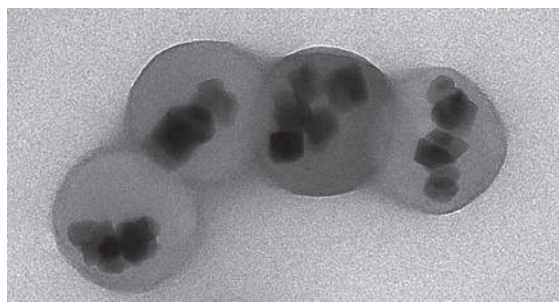
小型サーボモータ

FG beads[®] HM(高磁気応答性FG beads[®])

磁気分離時間が従来品より大幅に短縮可能

■特徴

- 従来品よりポリマー層を薄くすることで磁気応答性が高まりました。
- 高純度、高回収率で目的物質が精製できます。



【測定条件】

溶液: 50 mM KCl buffer

(20 mM HEPES-NaOH (pH7.9), 50 mM KCl, 1 mM MgCl₂, 0.2 mM CaCl₂, 0.2 mM EDTA, 10%(v/v) glycerol, 0.1%(w/v) NP-40, 1mM DTT, 0.2 mM PMSF)

温度: 25°C

■用途

- 免疫沈降 (IP): ビーズ表面に抗体を固定化し、抗原/抗体の特異的相互作用を利用して、細胞抽出液等の粗タンパク質液から目的の抗原を濃縮、精製する方法です。
- 抗体精製: 血清、腹水、細胞培養上清等に由来する抗体を、ビーズを用いて選択的濃縮、精製できます。

■形式

品名	形式	内容量 {容量(濃度)}
HM-Streptavidin beads	TAB8848N3170	5mg {0.25mL×1 tube (20mg/mL)} 10mg {0.25mL×2 tube (20mg/mL)} 20mg {0.25mL×4 tube (20mg/mL)}
HM-Neutr Avidin [™] beads	TAB8848N3171	
HM-Protein A beads	TAB8848N3172	
HM-Protein G beads	TAB8848N3173	

※Neutr Avidin[™]は、Thermo Fisher Scientific, Inc.およびその関連会社の商標です。

■仕様

ビーズ径	140 ± 20 nm
濃度	20 mg/mL
保存温度	4°C
保存溶媒	10mM HEPES-NaOH (pH7.9)
結合能	HM-Streptavidin beads, HM-NeutrAvidin [™] beads: >3 ug ビーズ標識 BSA/mg of beads HM-Protein A beads, HM-Protein G beads: >25 ug Human IgG/mg of beads



発掘! 戦前の図面の紹介〈第3回〉

～幻の半地下工場図、飯田工場 第一機械～

当社にあった古い社宅を解体する際に、旧日本陸軍の戦闘機などに搭載する部品の図面が70～80枚発見されました。今回は、構想段階で終戦を迎えた、半地下構造の工場建設設計図をご紹介します。

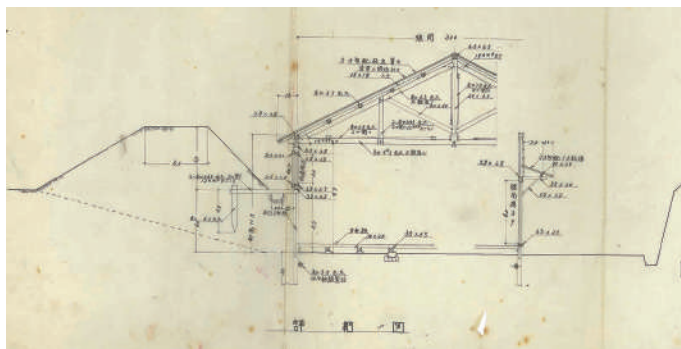


図1

飯田工場(現 本社・第一事業所)は飯田市西部にある風越山(かざこしやま)の山麓にあり、太平洋戦争中、創業者がこの地を工場用地に選んだ理由のひとつに、山を越えてくる風の影響で上空の気流が乱れるため、敵機からの攻撃を受けにくいということがありました。

とはいえ、敗戦が色濃くなる1945年4月15日、東京大森、荏原地区が爆撃を受け、蒲田にあった当社の東京本社、男女寄宿舎、多摩川学院を戦火で焼失してしまい、飯田工場でも攻撃に備えて半地下工場を構想したのであろうと考えられます。

この工場は、傾斜地の自然の勾配を活かしながら高さ12尺(約3.6m)の盛土をして、建物の全方向を囲む計画でした(図1)。内部は、旋盤、研磨盤、フライスなどの工作機械のレイアウトと



風越山の山麓に位置する現在の本社・第一事業所

それに合わせた基礎についても詳細に書かれた図面(図2)があり、かなり具体的に計画が進んでいたことが、うかがい知れます。

さらに図面をよく見てみると、長さの単位系が、建物は間、工作機械の外形はmm、機械の固定ボルト径などはインチ(米式、英式の機械を導入していたため)と単位系が混在している点も当時の作図の苦勞を感じることができます。

戦時中は、97式油量表(多摩川ニュースVol.18参照)を月産1,200台生産し、この飯田工場では挺身隊に加え、近隣の店主、青壮年や農業従事者なども動員されその数は2,000名にも及び、人海戦術でフル稼働生産をしていました。

結局、半地下工場は計画止まりとなり、100坪の建物が18棟とメッキ工場が1棟、整然と並び飯田工場は、現在も大半の建物の外観はそのままだに、本社・第一事業所として使い続けています。

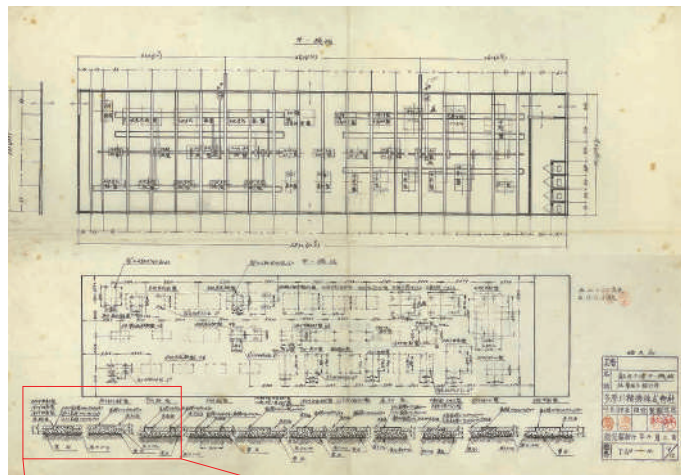
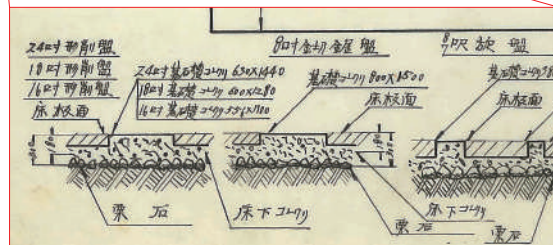


図2



吋(インチ)、呎(フィート)、mm、K(間)と単位系が混在する図面

■ ホームページリニューアルのお知らせ ■

当社のホームページをリニューアルしました。
パソコンの他に、スマートフォンやタブレットからアクセスした際にも、
より検索しやすく、より見やすいホームページになるよう、
ページ構成やデザインを全面的に見直しています。ぜひご覧ください。

<http://www.tamagawa-seiki.co.jp>



■ 第二歴史館 開館のお知らせ ■

『第二歴史館』が3月3日の創立記念日に合わせ開館予定です。当館は創業61年から現在まで、20年間の代表的な製品や主な出来事について展示しています。

見どころは、南米チリで設置運用されているALMA電波望遠鏡に搭載された高精度レゾルバを、大型電波望遠鏡の模型とともにご紹介します。館内奥には大スクリーンで20年間の出来事をご覧いただくことができます。

また、隣接する第一歴史館は創業～60年までの歴史を展示していますので、合わせてお立ち寄りください。



左棟が第一歴史館、右棟が第二歴史館



- 住 所 / 長野県飯田市大休1879 (本社・第一事業所敷地内)
- 休 館 日 / 当社の休日
- 入 館 料 / 無料
- 開館時間 / 午前9時～午後4時(要予約)
- 連 絡 先 / 本社総務課 0265-21-1800(代)

01 危機管理産業展2017 (RISCON TOKYO)

10月11日(水)～13日(金)
東京ビッグサイトで開催されました

ATLAS監視カメラシリーズを幅広い業種の方々へアピールすること、そして地方自治体向けのATLAS製品の地域販売特約店=パートナー企業の募集を主な目的として、危機管理産業展に出展しました。

展示品の目玉は、ATLAS-PLDNの筐体をリデザインした「アーバンスタイルモデル」と「空間安定機能付き全方位監視カメラ」です。

魚眼レンズを使用した全周囲撮影カメラと比較し、当社の「全方位監視カメラ」は広角レンズを4台配置して映像のゆがみが少なく、360度全周が見渡せることで、多用途に利用できる製品であるとの意見を多くの方から頂きました。

また「アーバンスタイルモデル」は華やかな都市部の景観に溶け込み、アミューズメントパークに設置しても違和感のないクールなデザインで、来場者から非常に高い評価を頂きました。

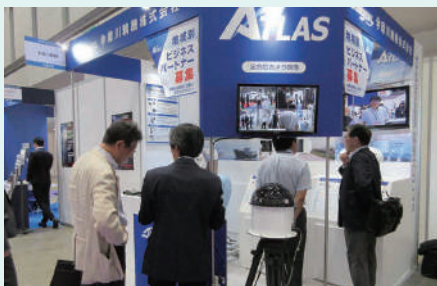
今回は性能・機能で他社との差別化を追求するだけでなく、「デザイン」という新たな切り口でATLAS製品をPRしました。



ATLAS-PLDN アーバンスタイルモデル



全方位監視カメラ



展示ブースの様子

02 2017国際ロボット展

11月29日(水)～12月2日(土)
東京ビッグサイトで開催されました

産業用・サービスロボット及び関連機器を一堂に集めた国際ロボット展が東京ビッグサイトで開催され、4小間(間口12m×奥行3m)のスペースで出展しました。

ACサーボモータ・ドライバやステップモータ、ロータリーエンコーダ、MEMS IMUなど、モータ・センサの充実した製品ラインナップの他、今回はロボット用サーボアクチュエータ「トルクサーボモジュール」や2線式システムの技術を応用した搬送ロボットのデモを、ともに参考出展としてご紹介しました。

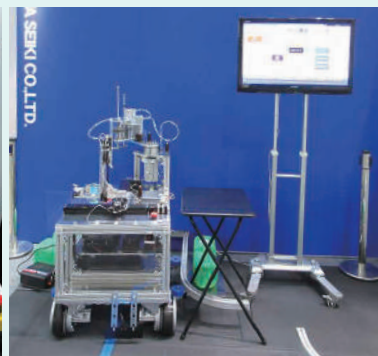
「トルクサーボモジュール」はヒューマノイドロボットを始めとする各種ロボットの関節駆動用サーボアクチュエータで、トヨタ自動車株式会社と共同開発しました、このモジュールを搭載した2台のハンドルを設置し、動きをシンクロさせて遠隔操縦のイメージを再現するとともに、片方のハンドルにかかった負荷(トルク)をもう1台のハンドルで体感できるデモを実施し、多くの方に、その技術をPRしました。

また2線式システムの技術を応用し、機電一体型のモータを10軸組み合わせ合わせた搬送ロボットは、省配線と配線の簡便性を実現する2線式システムの新たなアプリケーション事例として、多くの来場者から問い合わせを頂きました。

この国際ロボット展での出展を通し、私たちの生活の場や様々な産業現場で人との共存・協働のために日々革新を続けるロボット市場に向けて、当社の技術力をアピールする有意義な機会となりました。



トルクサーボモジュール



2線式システムの技術を活用した搬送ロボットのデモ

展示会出展情報 今後こちらの展示会に出展します。ぜひご来場ください。

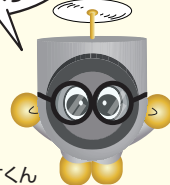
●Sea Japan 2018

会期:4月11日(水)～13日(金)／会場:東京ビッグサイト 東6ホール ブースNO:T-01

●TECHNO-FRONTIER 2018 第36回モータ技術展

会期:4月18日(水)～20日(金)／会場:幕張メッセ 展示ホール4 ブースNO:4B-39

Sea Japanには
ATLASシリーズ
を出展します



あ・とらずくん

多摩川モバイル電装株式会社

2008年3月に青森県三沢市で創立。多摩川精機の長野県飯田市にある工場の自然災害に対する生産拠点分散化対策としてHV用センサの生産を開始しました。2009年には多摩川ハイテック(株)よりプレス加工事業の移管を受け加工開始。2012年には、多摩川ジャイロトロンクス(株)と統合し、福地工場で新たにMEMSジャイロの生産を開始、さらにその応用製品であるIMUも現在では製造しています。2017年10月にはMEMSジャイロ、IMU事業を福地工場から新たな拠点である八戸工場へ移転しました。

当社は高い品質を維持しながら生産数を伸ばし続けてきており、今後ともお客様のご要望に柔軟に対応し、より高い品質を目指して従業員一丸となって邁進して参ります。私達は、お客様に“安心”と“感動”を与える物造りに徹し、こうした企業活動を通して社会に貢献して参ります。



本社工場



HV用センサ “シングルシン”



八戸工場



MEMSジャイロ特製試験エリア

●ご案内

- 所在地/本社工場 〒033-0134 青森県三沢市大津2丁目100-1
/八戸工場 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地1丁目147番地
- 設立/2008年3月
- 資本金/800万円
- 従業員/156名
- 製品品目/車載用角度センサ・車載用モータ・プレス加工部品
MEMSジャイロ・超小形高精度ジャイロ・その応用製品

青森県 八戸市

周辺探訪

八戸市は、全国有数の水揚げを誇る水産都市でありながら、東北有数の工業都市でもあります。漁業・工業・自然の多彩な魅力をあわせ持つ八戸市から今回はお届けします。

番外編

八戸ポータルミュージアム はっち からくり獅子舞



“八戸ポータルミュージアム はっち”は、地域の資源を大事にしながら、さらに新たな魅力を作り出す場として、観光、文化芸術、ものづくり、子育てなどをサポートしている施設です。

1Fの“はっちひろば”には八戸市出身の現代玩具作家 高橋みのる氏による『からくり獅子の時計』が設置されています。獅子もそれを動かす機構部分も木でできていますが、それらの動力には当社のサーボモータとドライバ、コントローラが使用されています。木製ならではの調整が必要で、現在も年

に2回メンテナンスを行うことで、一糸乱れぬ歯打ちの小気味良い音を聞くことができます。八戸で培われた文化芸術と、ものづくりが融合したすてきな作品ですので、ぜひ一度ご覧ください。



- ◆八戸ポータルミュージアム はっち 〒031-0032 青森県八戸市三日町11-1
TEL:0178-22-8228 FAX:0178-22-8808 開館時間/9:00~21:00(各テナントの営業時間についてはホームページをご覧ください)
休館日/毎月第2火曜日(祝日の場合その翌日)、12月31日及び1月1日 URL/<http://hacchi.jp/>
- ◆からくり工房 工遊館 〒031-0804 青森県八戸市青葉3丁目19番8号 TEL:0178-44-4831 FAX:0178-44-5006
URL/<http://karakuri.jp> Facebookページ:<https://www.facebook.com/mekakizumu>

当社には様々な趣味のサークルがあり、同じ趣味を持つ仲間達が、部署、役職、年代を越えて一緒に活動しています。仕事とは違う社員の一面をご紹介します。

多摩川バドミントンクラブ

代表／池上 幸紀（スペースエレクトロニクス研究所 特機技術課）

今回は、当社の中で、一番標高の高い本社体育館（標高600m超）で活動しているバドミントンクラブです。この日は1年でも最も寒い2月、外は氷点下でも体育館の中は暖房が一切ありません。まるで高地トレーニング(?)のような環境の中で、爽やかな汗を流している皆さんを訪ねました。

活動内容を教えてください

毎週水曜日 19:30～21:00に本社体育館で活動しています。現在、メンバーは20名いて、バドミントン経験者層と、クラブに入ってから始めたメンバーがいます。

目標としている大会は、飯田市で主催の大会が年に数回あるので、個人や団体に活躍できるように頑張っています。また、長野県勤労者体育大会へは毎年出場していて、2017年には女子チームが県大会で準優勝することができました。

平日の夜間が練習日なので、出張と重なったり、多忙で行けない時もありま

すが、都合のつくメンバーで集まって活動しています。でも大会前になると、ぐーっと集中力が高まり、力を発揮できてしまうチームです。



活動をしていて良かった点は？

普段はデスクワークで体が硬くなりがちなので、楽しく体を動かせること、



また、仕事以外の話ができたり、一緒にご飯を食べに行ったりできるなど、プライベートでも楽しく過ごせるのが良い点です。

メンバーの中には社外の方もいます。社内外、経験を問いませんので、体を動かすことが好きな方はぜひ一緒にバドミントンを始めませんか。

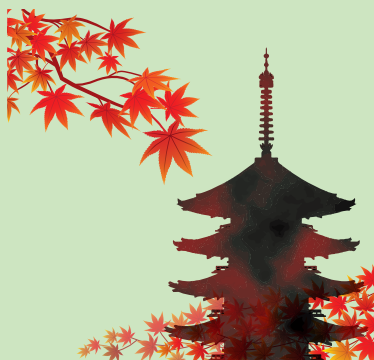
秋の名所をめぐる社員旅行

9月29日(金)～9月30日(土)開催

1泊コース／秋の但馬 城崎温泉の旅と、日帰りコース／京都・嵐山の旅の2コースから行きたい方を選択して参加でき、多くの従業員が秋の名所めぐりと美味しい料理を堪能してきました。

1泊コースの宿泊先での大宴会では、恒例の入社1～2年従業員による出し物として70～80'sの歌とダンスを中心に披露され、上司達のウケも良く大変盛り上がりしました。

天候にも恵まれ、親睦を深める楽しい旅となりました。



Tamagawa 多摩川精機株式会社

販売会社

多摩川精機販売株式会社

TAMAGAWA TRADING CO.,LTD.

本社 〒395-0063 長野県飯田市羽場町1丁目3番1号

■国内営業本部

・東京営業所	〒144-0054 東京都大田区新蒲田3丁目19番9号	TEL.03-3731-2131 FAX.03-3738-3134
・北関東営業所	〒330-0071 埼玉県さいたま市浦和区上木崎1-11-1 与野西口プラザビル3F	TEL.048-833-0733 FAX.048-833-0766
・八王子営業所	〒191-0011 東京都日野市日野本町2丁目15番1号 セントラルグリーンビル2F	TEL.042-581-9961 FAX.042-581-9963
・神奈川営業所	〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台3丁目15番5号 2F	TEL.0466-41-1830 FAX.0466-41-1831
・名古屋営業所	〒486-0916 愛知県春日井市八光町5丁目10番地	TEL.0568-35-3533 FAX.0568-35-3534
・中部営業所	〒444-0837 愛知県岡崎市柱1丁目2-1 HAKビル3F-B	TEL.0564-71-2550 FAX.0564-71-2551
・大阪営業所	〒532-0011 大阪市淀川区西中島5丁目6番24号 大阪浜美屋ビル401号	TEL.06-6307-5570 FAX.06-6307-3670
・福岡営業所	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前4丁目3番3号 博多八百治ビル6F	TEL.092-437-5566 FAX.092-437-5533

■開発営業本部

・特機営業部(東京営業所内)	〒144-0054 東京都大田区新蒲田3丁目19番9号	TEL.03-3731-2131 FAX.03-3738-3134
・車載営業部(北関東営業所内)	〒330-0071 埼玉県さいたま市浦和区上木崎1-11-1 与野西口プラザビル3F	TEL.048-833-0733 FAX.048-833-0766
・ ◇ (中部営業所内)	〒444-0837 愛知県岡崎市柱1丁目2-1 HAKビル3F-B	TEL.0564-71-2550 FAX.0564-71-2551
・空間技術営業部(東京営業所内)	〒144-0054 東京都大田区新蒲田3丁目19番9号	TEL.03-3731-2131 FAX.03-3738-3134
・鉄道営業部(東京営業所内)	〒144-0054 東京都大田区新蒲田3丁目19番9号	TEL.03-3731-2131 FAX.03-3738-3134
・パイオ営業部	〒395-8515 長野県飯田市大休1879	TEL.0265-21-0501 FAX.0265-21-1896
・航空電装営業部	〒395-8520 長野県飯田市毛賀1020	TEL.0265-21-1814 FAX.0265-56-4108
・開発営業部	〒395-0063 長野県飯田市羽場町1丁目3番1号	TEL.0265-56-5424 FAX.0265-56-5427

■Overseas Sales Department

・Headquarters : 1-3-1, Haba-Cho, Iida, Nagano pref. 395-0063. JAPAN PHONE : +81-265-56-5423 FAX : +81-265-56-5427

■各種お問い合わせ

〒395-0063 長野県飯田市羽場町1丁目3番1号 TEL.0265-56-5421,5422 FAX.0265-56-5426

製造会社

多摩川精機株式会社

■本社第1事業所	〒395-8515 長野県飯田市大休1879	TEL.0265-21-1800(代) FAX.0265-21-1861(代)
■第2事業所	〒395-8520 長野県飯田市毛賀1020	TEL.0265-56-5411 FAX.0265-56-5412
■民間航空機事業本部	〒395-8520 長野県飯田市毛賀1020	TEL.0265-21-1814 FAX.0265-56-4108
■第3事業所	〒399-3303 長野県下伊那郡松川町元大島3174番地22	TEL.0265-34-7811 FAX.0265-34-7812
■八戸事業所	〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地1丁目3番47号	TEL.0178-21-2611 FAX.0178-21-2615
■八戸事業所福地第1工場	〒039-0811 青森県三戸郡南部町大字法師岡字勘右衛門山1-1	TEL.0178-60-1050 FAX.0178-60-1155
■八戸事業所福地第2工場	〒039-0811 青森県三戸郡南部町大字法師岡字仁右エ門山3-23	TEL.0178-60-1560 FAX.0178-60-1566
■八戸事業所三沢工場	〒033-0134 青森県三沢市大津2丁目100-1	TEL.0176-50-7161 FAX.0176-50-7162
■東京事務所	〒144-0054 東京都大田区新蒲田3丁目19番9号	TEL.03-3738-3133 FAX.03-3738-3134